

2560地区富山富一ガバナーはR I レイシー会長の心を、一人一人のロータリアンが確実に知り、実行していくことである。そして体質を改善し、友愛と奉仕の実践をしようと説いておられます。

当クラブも13年を終ろうとしています。当年度も「小さな一歩でも更に前進しよう」を心がけて運営してまいりました。米山年度の活発な活動の流れを受け、スタート時点より活発な委員会活動で計画を練っていただきました。

クラブ奉仕委員会では、三人の会員を増やして頂きました。残念ながら退会者もありましたが、ご努力に感謝申し上げます。

クラブ会報では、“会員の声、”が大変好評でありました。又、私の顔写真を毎回掲載して頂き有難うございました。

世紀末親睦メニューのいろいろなアイデアで今迄になかった切口での親睦活動で楽しませてもらいました。そして予算も沢山余して頂き感謝致します。

ニコニコBOXもこの不景気の中、頑張って頂き、おかげさまで心配していたマイナス決算は避けられそうです。

職業奉仕委員会では例年より多くのメニューを消化していただきました。中でも第一中学校のボランティア活動の支援が評価され、地区協議会第四分科会で活動の発表がなされました。5月14日波満勇で開催された職業奉仕委員会は職業奉仕正にそのものでありました。

国際奉仕委員会ではドイツより夏期交換学生イエンス・ライティング君、リアド・ナサー君の受け入れ、そして米山忠孝君をドイツへ派遣しました。三人の若者に夢を与え見聞を広めていただき、当クラブが役立てたことは大変喜ばしいことでありました。

ロータリー財団では、4月頃までにすべての目標を達成していただきました。

米山奨学でも早々と目標を達成していただきました。そして地区協議会の分科会で当クラブの活動の内容を発表していただきました。

社会奉仕・青少年奉仕委員会では、三条市内小中学校校長会等に働きかけを行ない、青少年に関する今年度社会奉仕事業をいろいろと練り、最終決定したのは、大島彰先生の講演会「心に伝わる音がある」を1月21日、会員全員が心をつにして取り組みました結果、多くの人々から感動して頂き大成功を納め、「ガバナー特別表彰」を受け感激いたしました。

落合年度「確かな一歩」を前進させていただきました。会員の皆様に感謝申し上げ終わりとさせていただきます。

「アジア会議」に参加して： 山上茂夫

ワイフと共に5/6～5/8 京都の国立京都国際会館で行われましたR I 会長主催のアジアカンファレンスに参加して参りました。本県からはガバナーの他は参加者は見あたりませんでした。アナウンスによればアジアを含め15ヶ国、800人の参加と発表されました。

本会議は5/7（金）の10：00から第2本会議を含め、昼食での自由な交換や、更にグループ討

論などがありました。そして、インターミッションの後、16:15からグループ討論が続き、その後インターアクトフォーラムが1時間あり、18:00から親善晩餐会がありました。京都少年合唱団による公演もあり、当日の過密なスケジュールから解放されたひとときを過ごすことができました。

翌8日は同じく10:00から第3本会議がメインホールで再び開催され11:00から第4本会議、12:30から昼食、13:45からグループ討論でした。その後16:00~17:15まで最終本会議と続き、内容の過密ともいえる会議のスケジュールで閉会しました。

初日のオープニングスピーチでは世界中のトップが来て下さった事に感謝するご挨拶と共にレイシー会長の[ロータリアンの夢を追いつけよう]というターゲットは特に発展途上国の子供達に関する問題について、何をすべきか?を訴えています。アジアにおけるロータリアンは何ができるかを討論し考えようで始まりました。

レイシー会長の基調講演は「私の友人であるロータリーの皆様、私のロータリーの家族の皆様おはようございます。私はこの素晴らしい国をまた訪れることができ、今年最後の会長主催会議を開催することができ誠に嬉しく存じております。」に始まり、次の様なことを話されました。私はロータリーのリーダーだけでなく皆さんと話したかった。ポリオプラス以降はロータリアンの夢は何か?子供達は私達の未来の宝で、手をさしのべるのが夢である。子供達のプログラムは15,000万ドル以上かかるが、今2,000万ドルにしかすぎません。ロータリーは市民の成長を資金面で助けています。

会長会議は世界各地で開かれますが、アジア特に日本ではロータリアンの方々は[誠実さと他の人々に対する敬意]を持っていると感じています。子供達は私達の未来の宝ですが、同時にこの社会では傷つきやすい、無防備な存在なのです。だからこそ助けを必要としている子供達に手を差し伸べるのが私の夢なのですと熱っぽく語られました。

次いでカンファレンスでは今は子供達の将来の為にプログラムを作って活動したいというのがロータリーの夢です。健全なロータリーは健康的な環境を作り、健康的な夢でもある[住民にキレイな水を供給する]プログラムなどはどうでしょう。フィリピンでの財団活動(I E C)第3880地区ではキレイで廉価な水を供給する為、3Hグラッツで求めました。ロータリーのクラブレベルで人材を育てて行けば更にロータリーの夢はつながって行くでしょう。

これからのロータリアンは行動して高くはばたいて行けるでしょう。アジアのロータリアンは情愛の心を持って夢は21世紀に向かって飛び立って行くでしょう。などロータリアンの夢が語られました。

又、本当の幸は何か?考えてもらいたい。日本の子供は多くの材料に恵まれています。しかし心は貧困かもしれない。子供の思春期は大人になる為の重要な準備段階です。フィリピン、インド、タイでの300万人のエイズ患者の多くは女性でした。

物質的なもの、暴力、薬物、アルコール依存、セックスなど又貧困の中に囲まれています。大人